

ナツツの場合、1つのモデルの中でも違うタイプを用意しラインナップ数も多いが、それでもワンオフでの製作はかなりある。

ただ、棚の変更といった簡単そうに見えるものでも、その部分を取って付け替えるだけというわけではなく、図面から設計変更し家具作りの最初からやり直すため、金額的には20万~30万円になることもしばしば。

そうなる理由は製造工程からくるものであり、大量生産を前提とした家具工場、ボディ工場、組み立て工場の3本立てのシステムを取っているため。1台だけでの小変更では効率が悪い。

意外と思われるかもしれないが、変更点で多いのがレイアウト的なことで、トイレルームの大きさ変更。実際に手を着けると3~4カ月は必要になるため、その製作期間中にさらなる変更というのも受け付けることは可能だろう。

実は、今回発表しているマッシュのタイプAも、マルチ



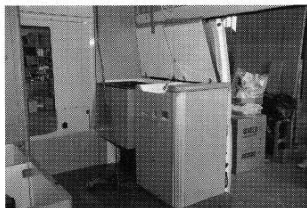
ナツツRV社長
荒木賢治

ルームがなく、大きなダイネットとリヤ2段ベッドを持つレイアウトで、数あるレイアウト変更プランからの要望がまとまってきて登場したという経緯がある。ワンオフにこたえているうちに、ラインナップが4タイプにもなってしまったのだ。

それ以外にも、これまでやってきたワンオフ変更の図面なども残っているため、いろいろな変更への対応は可能で、それらの金額もすでに出ているので、十分対応できるはずだ。

キャンピングカーは、各メーカーともラインナップとして様々なタイプを充実させてきている。でも、自分用のピッタリなモデルが欲しいと思う場合だってある。そんな要望に、メーカーはこたえられるのだろうか。

自分だけのオリジナルが欲しい

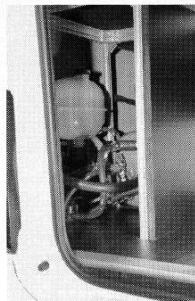


後付けが難しい 装備

●キャンピングカーらしい装備の中に、冷蔵庫がある。これは交換もできるので後付けも可能ではあるが、やはり必要なら製造時に組み込んでしまうのが都合がいいし、固定タイプの場合はその方が設置費用も安く済む。

また特殊なところで、床暖房などを組み込みたいとなると大変で、絶対できないわけではないがどう考えても製造時組み込みのほうがいい。

これらの組み込み状態を写真で見ると、あらかじめ製造時に設置しておいたほうがよさそうという理由が目りよう然だ。



ラインナップモデルをベースにしてワンオフを受け付けるというより、もしかしたらすべてがワンオフといえるかもしれない。

それは、家具は作り置きをせず1から製作する、しかも製造時にはまず仮家具を組んで、それをユーザーに見せて検証してもらい、納得してもらってから本家具の製造に取りかかる工程をたどるからだ。

この時点でけっこう変更点は出てくるのだが、あまり夢を膨らませて大胆に変えるより、直接目に見える部分、例えば身長に合わせたベッドサイズの変更などにとどめておいたほうが、結果的にはいいようだ。これなら1cm単位でも十分対応できる。

単品もののフルオーダーとなると、追加で100万円もらっても合わないと思える作業になるが、ラインナップモデルからの目に見える変更点程度なら、販売価格はほとんど変わらないだろう。

初めてキャンピングカーを購入する場合でのレイアウト



カトーモーター社長
加藤次巳智

変更は、2次元での小変更にとどめたほうがいい。クルマの中の空間は思ったより変化に富んでいて、3次元的なことが想像できず頭だけで考えたレイアウトだと、実際には使えないものになってしまうこともよくあるのだ。

実際、すでに使い方が分かっている2台目以降のオーナーの変更点は、大胆なレイアウト変更などではなく、棚の使い勝手とか冷蔵庫の大きさを変える、かなり具体的に限定されることから分かるのだ。

1ボックスバンコンでの確固たる位置付けを確立するに当たり、ユーザーからの注文でワンオフ製作に熱心に取り組む部分から離れていたこともある。

もちろん、全くこたえていなかったわけではなく、新技術の開発やラインナップの拡充といった作業が続き、手を着けにくかったというのが本当のところかもしれない。ただ最近では、工場において3次元NCを投入したこともあり、個別対応への準備はできてきた。

ラインナップ車種での変更となると、全体を変更することはちょっと難しいかもしれない。それは、レイアウトや装備が製造時において直接影響を及ぼす工法を採用しているからだ。このバランスを崩してしまうと、設計どおりのキャンピングカーの性能が発揮できなくなるからでもある。

こういうことから、形状変更程度のワンオフへの対応となるだろう。作業的には寸法の測り出しから始めて、要望



トイファクトリー社長
藤井昭文

のものがはまるかどうかカギになる。

基本的にすべてのものが量産を考えた作りだが、具体例でいえばベッドの高さを変えるなどの小変更よりは可能と思われる。金額的には5万~10万円くらいになるだろうか。

問題は、要望にこたえて作った物が、思惑どおりの結果を必ずしももたらすものではないということ。実はラインナップ車種というものは、それくらい吟味して作っているということでもあるのだ。